

## 年度始めだからこそ注意しましょう

準備登校前半が終わりました。生徒の皆さん、久しぶりの学校はどうだったでしょうか。私は、教室での皆さんの表情がやや硬かったように思いました。でも、仕方ありませんね。まだ二日目ですから。これからクラスの仲間とも担任とも打ち解け合っていくでしょうからね。明日からの後半もお楽しみに！

さて、久しぶりに皆さんを迎えて、私はあることに気付きました。世間は「コロナ、コロナ」ですが、それ以外にも気をつけるべきことはあるようです。

二ヶ月ぶりに、朝の横断歩道脇に立ちました。いつものように北に向かって走る車、南に向かって走る車がたくさん通っていきました。その中に、これまで見たことのない車が多いことに気付きました。

新年度が始まったということで、進学や就職する人たちが多くなり、その人たちを乗せて走る車が四月から増えたようです。

減った車もありますから交通量としてはさほど変わらないのですが、気をつけるべきはその道路を走る経験の浅い車です。なぜなら、横断歩道はあるものの、この二ヶ月横断者がほとんどなかったからです。横断者を見つけて止まる車が昨年度より少な委と感じたのは、恐らくそのためでしょう。

「朝は中学生が横断するかもしれない」というイメージがドライバーに根付くまでは、「きつと止まってくれるだろう」と考えるのは危険のようです。「だろう」横断はしばらくの間やめましょう。

このことは、私が立っている場所に限ったことではありません。そこを通る経験の浅いドライバーや運転に慣れていない初心者ドライバーが多いのはやはり年度はじめです。そういうことを意識して登下校してくださいね。

もう一つ。この二日間、携帯に目を落としながら運転するドライバーもちらほら見かけました。あつてはならないことです。これも年度はじめだからかもしれません。声が届かない分、歩行者、自転車側から注意しましょうね。

(五月二十七日 記)